

留学生とのお別れ会でした

ミラちゃんとめいちゃんが帰国。いままでありがとう！

グロ探通信

08号

★編集★
グロ探
通信班



白い浴衣で微笑むめいちゃん、紺の浴衣ではにかむミラちゃん、G探と演劇部と有志の皆さん

これまでG探の仲間として過ごしてきたミラ・グレッグさん(ミラちゃん)と、宇田めいさん(めいちゃん)が、このたび帰国の運びとなりました。

ミラちゃんは、3月下旬にカナダから高知に到着。半年間の留学先として山田高校が選ばれ、2年生と一緒に勉強してきました。絵が上手で、読書が好きなミラちゃんですが、なんと黒板掃除が好きだということで、毎日黒板をピカピカに拭き上げていました。

めいちゃんは、7月上旬から2週間ほどの短期留学生として1年生の教室に仲間入り。ご家族が土佐山田町の出身のため、定期的に里帰りをしていたそうです。アメリカで日本語の補習学校に通っていることもあり、とても自然な日本語を話します。高校では演劇クラブに入っているそうです。

2人のお別れ会は、7月19日、終業式の日の午後に行われました。実施にあたっては、G探の生徒や教員がいろいろな役割を分担して準備をしました。

まずはミラちゃんの探究発表がありました。「日本のファッションの変遷について」というタイトルで、着物から洋服、ミニスカールト、ギャルファッション、森ガール等々、時代とファッションの変遷をまとめて発表しました。そのあとはめいちゃんと演劇部がコ



ラボして「おやじラップ」という劇を上演。家庭でも職場でも居場所がなく、目立たないことが生き延びる秘訣と諦める「おやじ①」が、絡まれたチンピラにラップバトルをしかける「おやじ②」に感化され変わっていく、というストーリーの劇で、めいちゃんはラップバトルのレフエリー役を好演しました。



劇が終わると、二人はお話し替え。家庭科の山本律子先生が用意してくれた浴衣と、その色味に合わせて2年生の朝倉翠さんが手作りしたつまみ細工の髪飾りをつけた姿で登場し、級友たちの喝采を受けていました。そして、2人からは日本語でのスピーチが。めい

ちゃんからは、短い時間の中でも楽しい思い出がたくさんできたこと、受け入れてくれた感謝が。ミラちゃんからは4カ月の思い出と、授業は難しかったけど級友が支えになってくれたという、級友への感謝が伝えられました。2人の率直な思いが伝わってきました！

最後に集合写真を撮ったあとは、お楽しみの茶話会です。持参したお弁当や、お菓子係さんが買ってきてくれたたくさんのお菓子を食べながら、ミラちゃんといままでの時間を過ごします。お別れ会では携帯電話の使用の許可も得て、あちこちで留学生を交えた自撮り大会が開かれ、思い出を増やしていました。

コロナ禍を経て、山田高校でも少しずつ海外との交流が再開しました。1学期には山田高校で2名の留学生を迎えましたが、2学期にはG探生徒9名を含む10名でのラーゴ高校への短期留学も控えています。迎えることも、行くことも、どちらもとてもいい経験になることでしょう。G探生には、たくさんさんの経験をしてほしいと思います。